



メントの「イラストやぐら」のデザインや pixiv 本社の内装を再現したカフェを手がけました。チームラボは、新作「お絵かきピープル」と、お絵かき機能を搭載した pixiv 祭バージョンの「Cure Studio」を展示します。

期間は 2014 年 10 月 25 日（土）～2014 年 11 月 24 日（月・祝）まで。

展示詳細：<http://matsuri.pixiv.net/>

## ■出品作品

### 天空のうごく巨大イラストやぐら

チームラボ, 2014



pixiv 祭の象徴として、水色と白を基調とした、巨大な櫓（やぐら）を制作。櫓の四方側面にディスプレイを設置し、アニメーション GIF 等を投稿できる“うごイラ”機能（pixiv の新機能）を使って集めた踊る GIF アニメを表示。会場で流れる「ぴくしぶおんど」に合わせて、数百ものアニメーションとともに来場者が踊れる櫓になっています。三段目には、巨大手作り pixiv 提灯を設置、櫓はイベントスペースとしても利用できます。

### ピクシブ食堂

チームラボ, 2014



# ピクシブ食堂

## お絵かき処

pixiv 本社のオフィスにある 250m のワークデスクを、pixiv 祭バージョンとして段ボールで制作。1 人でも複数人でも、同じテーブルで、飲んだり、食べたり、絵を描いたりできるカフェテーブルで、段ボール製の天板には自由に絵を描くことができます。また、カフェの壁には、オフィスにも導入している「絵馬」の壁を設置。絵馬を購入すると、お絵かきした後、ピクシブ祭に奉納できます。

お絵かきピープル  
チームラボ, 2014



この広場では、みんなが描いた人（ピープル）たちが動き出します。

「紙」に自由に人（ピープル）の絵を描きます。すると、みんなが描いた人と共に、目の前の大きな広場で、その人たちが動き出します。自分達で描いた人たちには、触ることができ、触ると様々なアクションをします。

Cure Studio pixiv 祭バージョン



## ▼pixiv とは

「作品を介したコミュニケーション」にフォーカスしているクリエイターのための SNS（ソーシャルネットワークサービス）です。「お絵かき（創作）がもっと楽しくなる場所」という理念のもと作品（イラスト・漫画・小説）の発表と交流に特化したサービスとして 2007 年 9 月に開始されました。

<http://www.pixiv.net>

## <協力>

### Cure

<http://curecos.com/>

### WorldCosplay

<http://worldcosplay.net/>

### ■チームラボアーキテクトとは

東京から活動するデジタルと空間を共存させるための集団。画面の中だけだったデジタルを、空間そのものを使って体感できる空間をつくることで、デジタルとリアルがあいまいに共存する、空間デザインを行う。

<http://www.team-lab.net/tag/officedesign>

### ■チームラボとは

プログラマー・エンジニア（UI エンジニア、DB エンジニア、ネットワークエンジニア、ハードウェアエンジニア、コンピュータビジョンエンジニア、ソフトウェアアーキテクト）、数学者、建築家、CG アニメーター、Web デザイナー、グラフィックデザイナー、絵師、編集者など、スペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。サイエンス・テクノロジー・アート・デザインの境界線を曖昧にしながら活動中。

主な実績として、カイカイキキギャラリー台北（台湾）で『生きる』展開催（2011）。『LAVAL VIRTUAL』（フランス）にて「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」が建築・芸術・文化賞を受賞（2012）。国立台湾美術館（台湾）にてチームラボ「We are the Future」展を開催（2012）。『シンガポールビエンナーレ 2013』にて、「秩序がなくともピースは成り立つ」を展示（2013～2014年）。「チームラボと佐賀 巡る！巡り巡って巡る展」（佐賀）を開催（2014）。東京駅の商業施設「KITTE」にて、新作「時に咲く花」を常設展示（2014～）。『Art Basel - Hong Kong』（香港）にて、「増殖する生命 - Gold」を展示（2014）。Pace Gallery（アメリカ・ニューヨーク）にて『teamLab: Ultra Subjective Space』を開催、デジタルアート作品 6 作品を展示（2014）。『香川ウォーターフロント・フェスティバル』など香川県内 3 会場で、ショーとデジタルアート作品を展示する『チームラボと香川 夏のデジタルアート祭り』を開催（2014）。東京都現代美術館（東京）にて人工衛星の実物大模型に高さ 19m の滝をプロジェクションマッピングする「憑依する滝、人工衛星の重力」を発表（2014）。Pace Gallery（北京）のグループ展『We Love Video This Summer』に参加（2014）。「秩序がなくともピースは成り立つ」が『アルス・エレクトロニカ』にて、Interactive Art 部門の Honorary Mention（入選）を受賞（2014）。

『チームラボって、何者？』がマガジンハウスより刊行（2013年12月19日）。

現在、グッチ新宿（東京）にて、新作「Infinity of Flowers」を展示（9月13日～9月28日）。ハウステンボス（長崎）のイベント『秋の光の王国』にて新作「呼応する木々」を発表（9月13日～10月30日）。

今後の予定として、『Garden of Uneathly Delights: Works by Ikeda, Tenmyouya & teamLab』（アメリカ／ニューヨーク）で新作含む5作品を展示（10月10日～2015年1月11日）、『チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地』（東京）にて、デジタルアート作品と「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」を同時展示（11月29日～2015年3月1日）など。

チームラボ株式会社

<http://www.team-lab.com/>

チームラボ作品紹介

<http://www.team-lab.net/>

#### ■本件に関するお問い合わせ

チームラボ（広報担当・工藤／江城／森）

[lab-pr@team-lab.com](mailto:lab-pr@team-lab.com)

03-5804-2356